

# GPA 制度の改定について

平成27年度から、下記のとおり、全ての学部の授業科目が見直し後の GPA 制度により成績評価されます  
(平成26年度以前入学者も対象)。

詳細については、以下 URL を参照してください。

[九州大学 学生の皆様 > 教務情報 > GPA 制度について] <http://www.kyushu-u.ac.jp/student/education/gpa.php>

## 記

(以下、上記ホームページから抜粋)

### ■はじめに

GPA(Grade Point Average)制度は、外国の多くの大学が採用している制度であり、グローバル化時代における国際的な成績評価システムとして、九州大学では、平成 19 年度入学生より導入しました。

導入から 7 年目にあたり、本 GPA 制度について、評語の考え方、到達目標(基準)と評価との関係について理解しやすくするため、評価基準をより明確にすることを目的に以下のとおり見直しました。学生には明確になった到達目標に向かって学習意欲をより高め、責任ある履修を行うことが求められています。

\* 平成 27 年度から、学部の全授業科目を、見直した GPA 制度により成績評価します。

\* 平成 28 年度学部入学生より GPA2.0 を卒業の目安とします。

### ■見直した事項

#### ① 評語及び GP について

<< 見直し後 >>

評語		GP
A: Excellent	基準を大きく超えて優秀である	4
B: Good	基準を超えて優秀である	3
C: Satisfactory	望ましい基準に達している	2
D: Pass	単位を認める最低限の基準には達している	1
F: Fail	基準を大きく下回る	0

⌘ 100点法への換算の目安(参考として示すもの)

A	B	C	D	F
90 以上	89～80	79～70	69～60	59 以下

< 参考・従来 >

評語		GP	100点法
A: Excellent	特に優れている	4	90 以上
B: Good	優れている	3	89～80
C: Fair	普通である	2	79～70
D: Pass	一応の学修成果があり、単位は認める	1	69～60
F: Fail	不合格	0	59 以下

(60点を合格とする。「各学部規則」)

② 再履修科目の取扱いについて

平成26年度までは評価がFの科目のみ再履修が可能でしたが、平成27年度以降は履修する科目の評価がFあるいはDである場合に再履修することができることとしました。その場合の評価(GP)は再履修によって得た評価に置き換え、GPAに算入します。

ただし、平成26年度までに履修した科目の評価はこの対象とはしません。

また、この制度は再履修の機会を必ずしも保証するものではありません

■ GPA 制度とは

本学のGPAは、履修登録した科目毎の5段階評価(A・B・C・D・F)を4から0までのGP(Grade Point)に置き換えて単位数を掛け、その総和であるGPT(Grade Point Total)を履修登録単位数の合計で割った平均点となります。

$$\text{GPA(Grade Point Average)} = \text{GPT(Grade Point Total)} \div \text{履修登録単位数}$$

$$\text{GPT(Grade Point Total)} = [\text{GP(Grade Point)} \times \text{当該科目の単位数}] \text{の総和}$$